

2020 年度実施概要

学校名

気仙沼市立唐桑幼稚園

採択活動名

まだまだ知らない海の秘密・海の魅力を見つけよう！

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 滝浜散策	全学年	
2. 気仙沼湾親子クルージング	全学年	
3. : 海の幸を味わおう	全学年	

取り組みの概要

・ねらい

様々な視点から海に親しみ海の魅力に気付いたり、海の秘密を発見したりする活動を工夫していくことで、幼児の興味や関心を広げ、好奇心を育てる。

めざす幼児像は以下の二点である。

- ・色々なことに興味や関心をもち自分なりに、試したり、考えたり、調べたりする幼児
- ・体験したことを生かしながら遊びを存分に楽しむ幼児

◎活動内容

(1) 松園幼稚園との滝浜交流

今年度は馬場の浜遊びに加え、初めて滝浜にも行き海での遊びを存分に楽しんだ。岩場登りをしたり海の宝物探しをしたり、松園幼稚園の友達と交流を楽しみながら散策を行うことが出来た。馬場の浜とは違う海の魅力を感じ、改めて唐桑の海の豊かさに気づき“海が大好き”という気持ちを高めることに繋がった。



海の宝物探し



岩場登り

(2) 気仙沼湾親子クルージング

気仙沼湾親子クルージングでの、大きな船に乗ったり、広い気仙沼の海を眺めたり、カモメにエサをあげたりする体験は幼児の心をワクワクさせる貴重な体験となった。クルージング体験を通し、船に興味をもったり、カモメとウミネコの違いを学んだり海への興味や関心が更に広がった。その後の遊びにも取り入れ、自分たちで船やカモメを作り、幼稚園ウィークでは保護者や地域の方と一緒にクルージングごっこを楽しんだ。



船に興味をもつ様子



クルージングごっこ

(3) 海の幸を味わおう

シーフードカレーや赤皿貝のスープなど海の物を食す機会を多く取り入れた。幼児は海の生き物を調理する過程を見たり、海の食材を使い自分たちで実際にクッキングをしたことで、「どんな味がするんだろう?」「食べてみたい!」と食への意欲が高まった。また、海や漁協で見たワカメや赤皿貝、その時期旬のサンマなどを取り入れたことで、自分たちの食事には海の恵みが日常的に取り入れられていることを改めて感じる事が出来た。



イカを捌く様子



自分たちで作ったつみれ汁を食べる様子

◎成果と課題

(1) 成果

- ・海での生き物との触れ合いを通して、海以外の生き物への関心も高まった。図鑑や虫カゴ、飼育するスペースなどを用意したことで、幼児が海や園庭で見つけた生き物について調べ、観察し自分なりに飼育環境を整えたり、大切に育てたりする姿が見られた。
- ・滝浜散策や親子クルージングなど幼児がワクワクするような新たな体験活動を取り入れたことで、生き物を以外にも船など違う視点から海に関心をもったり、その後の遊びに繋がったりする姿が見られた。

(2) 課題

今年度は、新型コロナウイルスの影響で園外での活動が思うように出来ないこともあり、当初の計画を改善したり変更したりしながらの実施となったが、今後も地域環境を生かした活動を継続していくとともに、幼児の興味が沸く体験活動を職員間で話し合い工夫していくことが大切だと感じた。そして、海を通して学びを深めていくために教師自身が海での経験海への知識を深めていくことが必要だと感じた。